KOTO

OL-200N
クランク＆カムシャフトオイルシールプーラーセット
取扱説明書

この度はKOTO製品をお買求め頂きまして誠にありがとうございます。

取扱説明書を必読し、作業手順をよく理解した後にご使用下さい。

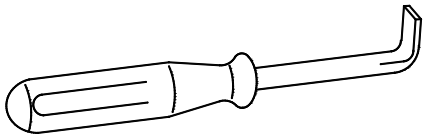
本製品は、クランクシャフト・カムシャフト等のオイルシールの抜取、取り付け専用工具です。
その他の目的には使用しないで下さい。

OL-200N-1・-2の使用箇所以外の作業は、各カーメーカーの整備書の指示に従ってください。

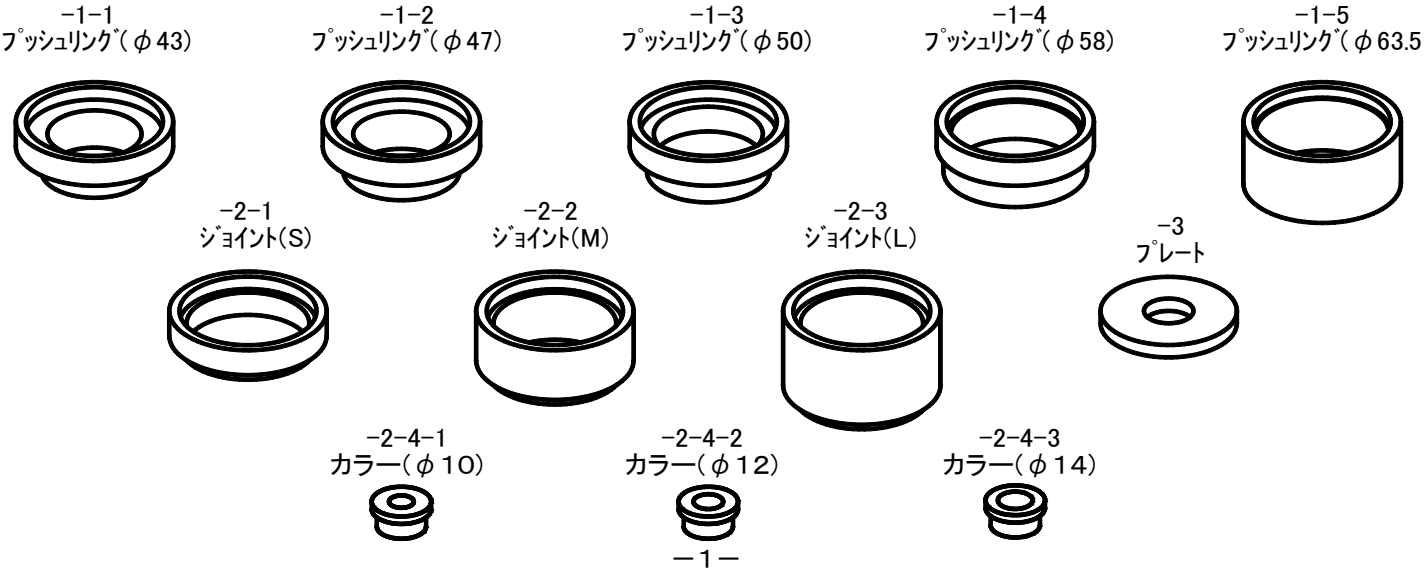
説明文の始めに ⚠ マークのある作業箇所は、間違った使用方法では物損・ケガ等が考えられます。注意事項を守って作業を行って下さい。

○セット内容

OL-200N-1　クランク＆カムシャフトオイルシールレバー



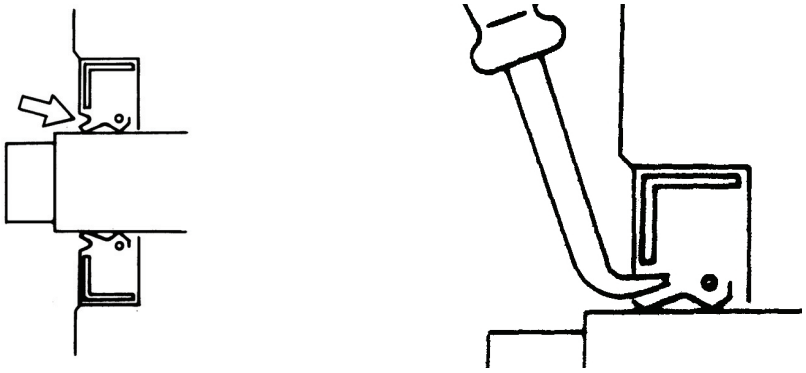
OL-200N-2　クランク＆カムシャフトオイルシールインサーター



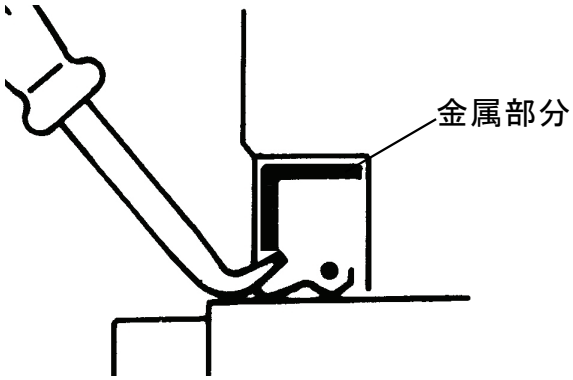
○使用説明

・オイルシールの抜き取り　→OL-200N-1

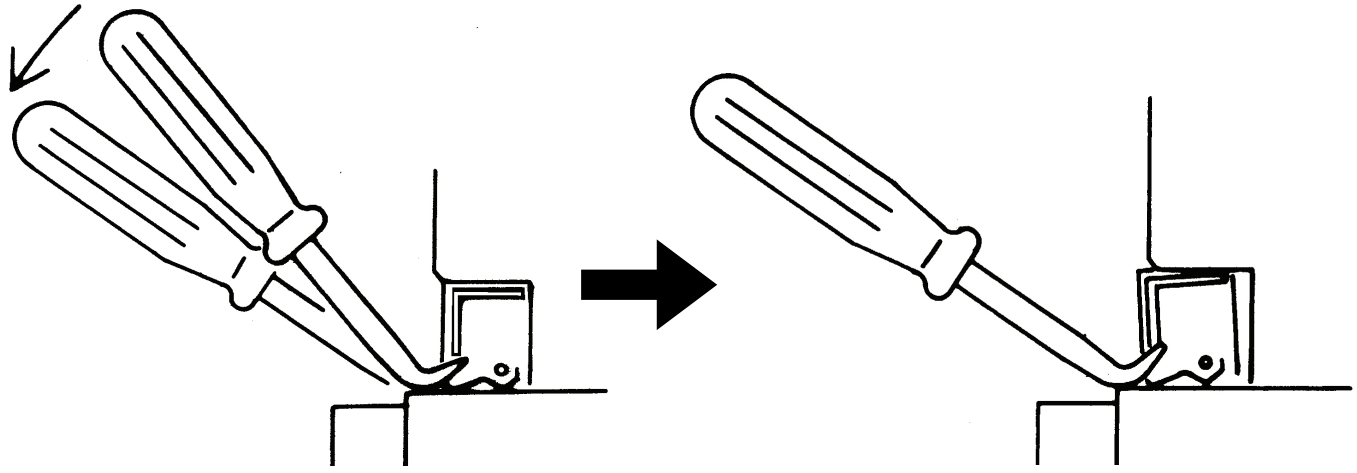
① 図のオイルシール矢視部分(内側の金属とリップの間)にOL-200N-1の先端を突き刺して下さい。



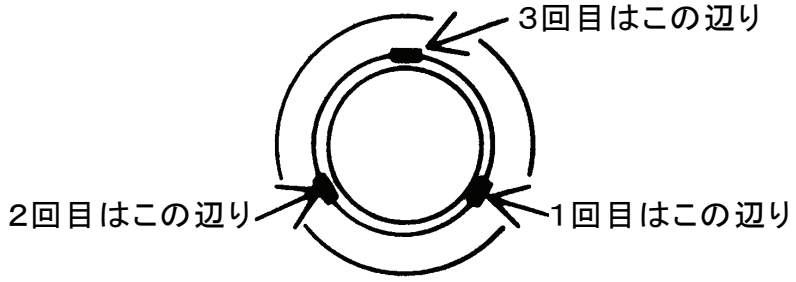
② 図の様に内側の金属部分に、OL-200N-1の先端を当てます。



③ OL-200N-1をシャフト側に倒して、オイルシールを手前に起こして行きます。

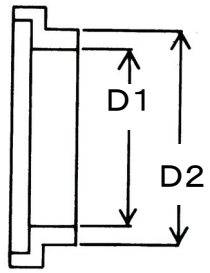


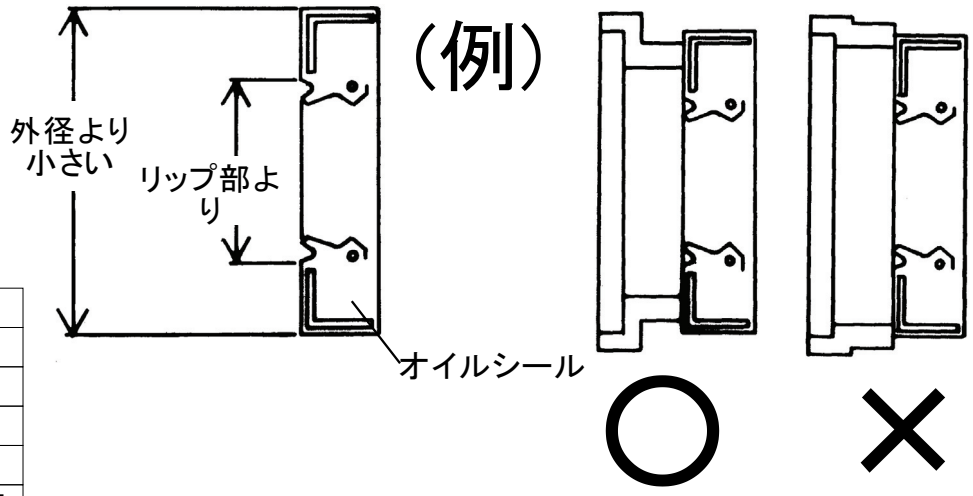
上記作業の場所を変えて交互に行って頂くとオイルシールが外れます。



・オイルシールの取り付け　→OL-200N-2

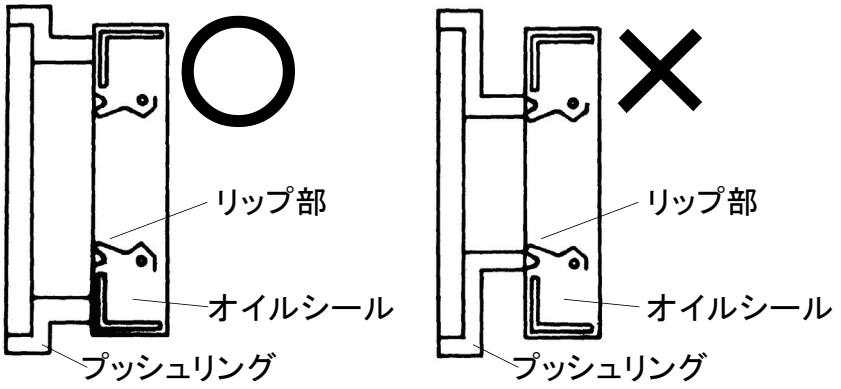
① オイルシールの外径よりも小さく、オイルシール・リップ部外径よりも大きいプッシュリングを選びます。





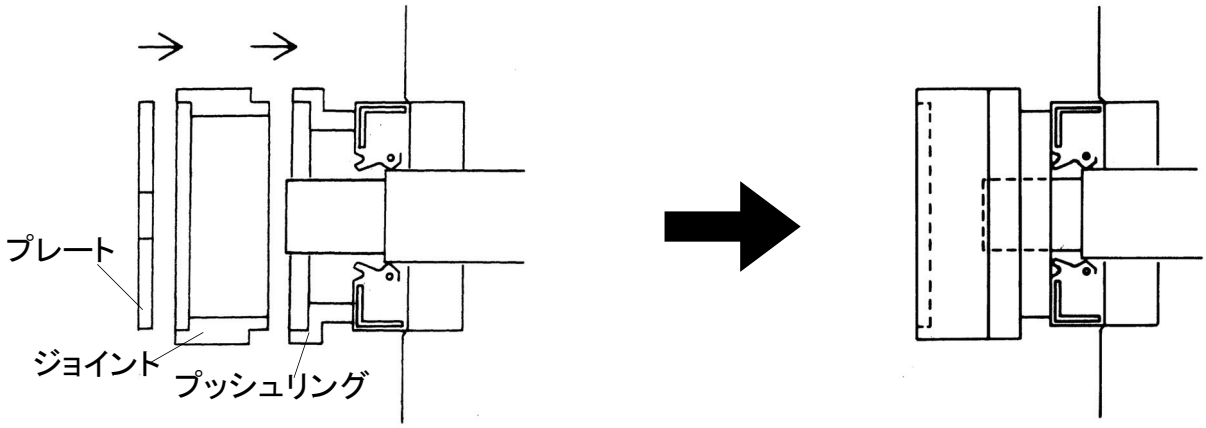
	刻印	D1	D2
プッシュリング(φ43)	1	38	43
プッシュリング(φ47)	2	39	47
プッシュリング(φ50)	3	44	50
プッシュリング(φ58)	4	52	58
プッシュリング(φ63.5)	5	53.5	63.5

⚠ OL-200N-2を使用の際には必ずオイルシール・リップ部よりも大きいプッシュリングを使用して下さい。
オイルシール・リップ部にプッシュリングを当てて作業すると、組み付け終了時にオイルシールが変形を起こす可能性があります。

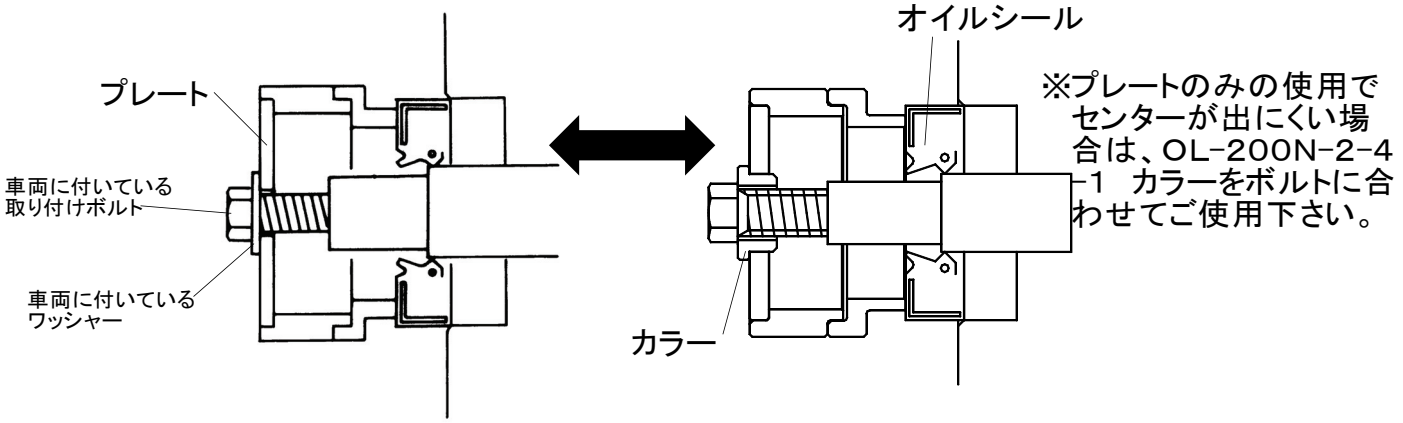


② シャフトの長さにより、ジョイントを選択しプレートをはめます。

※ 長さが足りない場合は、ジョイントの(S)・(M)・(L)を重複して付けて下さい。



③ 車両に付いている取り付けボルトを使って締めていき、オイルシールを取り付けます。

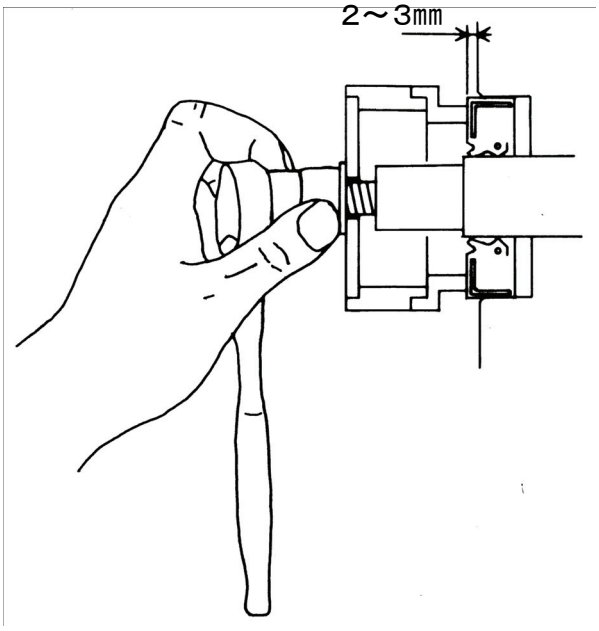


※ オイルシールが完全に入りきっていないのに取り付けボルトの締め付けが固くなった場合は、締め代が足りない場合が考えられます。その場合はジョイントを厚い物に替えるか、足すかをして下さい。

	適応車種
カラー(φ10)	トヨタ(カム)、軽自動車(カム)
カラー(φ12)	トヨタ(クランク・1500cc以下)、軽自動車(クランク)
カラー(φ14)	日産(クランク・1500cc以下)

⚠ プッシュリングとオイルシールが全周で当っているかを確認しながら取り付けボルトを締めて下さい。オイルシールが斜めに入っていて外周がむしれる場合があります。

⚠ OL-200N-2を使用の際に、クランププーリー取り付けボルトの締め過ぎに注意して下さい。
必要以上に締め付けは、オイルシール破損の原因となります。
エンジンブロック面から2～3㎜の所までオイルシールが入りましたらラチェットハンドル等の頭付近を握って、締め過ぎに注意しながら各カーメーカーの整備書の指示位置までオイルシールを挿入して下さい。



江東産業株式会社